

Oncology News



体重減少伴う発症初期の糖尿病で膵がんリスク増／JAMA Oncol

糖尿病と膵臓がんの関連は知られているが、体重減少を伴う発症して間もない糖尿病では、膵臓がんのリスクが大幅に高いことが明らかにされた。米国・ダナ・ファーバーがん研究所の Chen Yuan 氏らによるコホート研究の結果で、「高齢」「以前は健康体重」「意図的な減量ではない」場合は、さらに膵臓がんの発症リスクが高まることも示された。米国において膵臓がんは、がん死要因で3番目に多いという。しかしこれまで、膵臓がんの早期診断戦略を促進する高リスク群は、ほとんど特定されていなかった。JAMA Oncology 誌オンライン版 2020 年 8 月 13 日号掲載の報告。

研究グループは、30 年以上にわたり繰り返し評価が行われてきた米国の 2 つのコホート研究 (Nurses' Health Study および Health Professionals Follow-Up Study) のデータを用いて、糖尿病罹病期間および最近の体重変化とその後の膵臓がんリスクとの関連を解析した。

膵臓がんの発症は、自己報告または参加者の死亡の追跡調査により特定し、死亡は近親者からの報告、米国郵便公社または国民死亡記録 (National Death Index) で確認された。

主要評価項目は、膵臓がん発症のハザード比 (HR)。2018 年 10 月 1 日～12 月 31 日にデータを収集し、2019 年 1 月 1 日～6 月 30 日に解析が行われた。

主な結果は以下のとおり。

- ・解析対象は、女性 11 万 2,818 例 (平均年齢 59.4 [SD 11.7] 歳)、男性 4 万 6,207 例 (64.7 [10.8] 歳) で、このうち膵臓がん発症は 1,116 件確認された。
- ・非糖尿病患者と比較した膵臓がんの年齢補正後 HR は、糖尿病を発症して間もない (短期罹病) 被験者で 2.97 (95%信頼区間 [CI] : 2.31~3.82)、長期罹病者で 2.16 (95%CI : 1.78~2.60) であった。
- ・非体重減少者と比較した膵臓がんの年齢補正後 HR は、1~4 ポンドの体重減少者は 1.25 (95%CI : 1.03~1.52)、5~8 ポンドの体重減少者は 1.33 (95%CI : 1.06~1.66)、8 ポンドを超える体重減少者は 1.92 (95%CI : 1.58~2.32) であった。
- ・1~8 ポンドの体重減少を伴う糖尿病短期罹病者 (91/10 万人年 [95%CI : 55~151]、HR : 3.61 [95%CI : 2.14~6.10])、または 8 ポンドを超える体重減少を伴う糖尿病短期罹病者 (164/10 万人年 [95%CI : 114~238]、HR : 6.75 [95%CI : 4.55~10.00]) は、いずれも非該当の被験者 (16/10 万人年 [95%CI : 14~17]) と比較して、膵臓がんのリスクは大幅に高かった。
- ・膵臓がんの罹患率は、糖尿病短期罹病者で、かつ体重減少前の BMI は 25 未満でありそこからさらに体重が減少した者 (罹患率 400/10 万人年)、または身体活動の増加や健康的な食事の選択が認められ体重減少が意図的ではなかったと判断される被験者 (334/10 万人年) では、さらに高かった。

当コンテンツは、株式会社ケアネットの監修により、がんに関連する重要論文を選別し、それらを簡潔に要約したニュースレターです。当社の見解を述べるものではなく、承認外使用を推奨するものではありません。内容の詳細については元文献・元ニュースを、製品に関する情報は各製品の最新の添付文書をご確認いただきますようお願いいたします。

尚、当コンテンツに掲載されている記事等に係る所有権、著作権その他一切の権利は、ニプロ株式会社、株式会社ケアネット、コンテンツ制作者等の著作権者が保有しています。

Oncology News



<関連文献>

Yuan C, et al. JAMA Oncol. 2020 Aug 13. [Epub ahead of print]

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/32789511/>

当コンテンツは、株式会社ケアネットの監修により、がんに関連する重要論文を選別し、それらを簡潔に要約したニュースレターです。当社の見解を述べるものではなく、承認外使用を推奨するものではございません。内容の詳細については元文献・元ニュースを、製品に関する情報は各製品の最新の添付文書をご確認いただきますようお願いいたします。

尚、当コンテンツに掲載されている記事等に係る所有権、著作権その他一切の権利は、ニプロ株式会社、株式会社ケアネット、コンテンツ制作者等の著作権者が保有しています。